

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日時	令和元年7月24日(水曜日) 午後1時30分から午後4時5分まで
3	会場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	小澤厚会長、田村裕子副会長、内堀敏高委員、大神文子委員、片桐有紗委員 齋藤ゆり子委員、富岡太刀夫委員、永井静江委員、永井三男委員 宮岸喜恵子委員、宮坂和雄委員、山岸嘉幸委員、山本幸恵委員、横山佳栄委員 【欠席委員6名】
5	市側出席者	竹花丸子地域自治センター長、滝沢丸子地域自治センター次長兼地域振興課長 青木丸子地域振興政策幹兼丸子地域教育事務所長、鈴木産業観光課長、堀内建設 課長 深町丸子学校給食センター所長、丸山丸子消防署長 小林市民サービス課長補佐兼市民窓口担当係長 矢ヶ崎丸子・武石上下水道課長補佐兼業務係長兼上下水道係長 金井地域振興課長補佐兼地域政策担当係長、高木主査、藤森主査、緑川主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	4人 ・ 記者 2人
8	会議概要作成年月日	令和元年8月23日

1 開 会 (滝沢センター次長)

2 あいさつ

3 協議事項

(1) わがまち魅力アップ応援事業の選考審査について

令和元年度わがまち魅力アップ応援事業第2回募集において、新規事業2件の選考申込みがあった。新規事業2件について、各団体による事業説明と質疑応答を実施した後、各委員による審査調書の評価を集計し、審査した委員全員にて採点結果や条件の有無等を確認・協議した結果、1件の新規事業が採択となった。

採否にかかる評価や協議は非公開

採択となった事業の団体名、事業名は次のとおりである。

腰越村記録の会「腰越ふしぎ発見探検隊」

4 報告事項

(1) 丸子ベルパーク遊具新設について、長瀬西組児童公園遊具更新について
都市計画課から遊具新設・更新について説明した

(以下質問)

(委員) 複合遊具は死角があるが安全なのか。また長瀬の公園は人通りのない所にあり、防犯上危険な場所であるが、防犯カメラなどの設置の考えはあるか。

(担当) 丸子ベルパークについては、死角となる場所をなるべくつくりたくない形で遊具設計しておりますので、保護者が外側から見ていても子が目に留まる要素を盛り込んで設計しております。

(委員) 死角全くないのか。

(担当) 全くないという事はないですが、見守りのしやすい視認性のある遊具として設計させて頂いております。全体的な大きさですが、幅が10.8m、奥行きが8.7mと大きな遊具になりますので、極力死角のない形にしております。

(担当) 小さい子どもはどんな行動をするか分からないので、基本は保護者が目の届く範囲に一緒にいて頂きたいというのが要望です。

(担当) 長瀬西組児童公園の防犯体制について、公園の遊具自体を混み合っていたり囲みがあったり植栽があったりなどの状況の中で遊具の配置を見直し、なるべく死角がなかったり安全に遊べるようなレイアウトを行いたいと思っております。防犯カメラですが、近隣のお宅が見れるという恐れがあるので、今この場で防犯カメラ設置について明言できませんが、まずレイアウトから考えてより安全に使っていただけるような公園づくりと考えております。

(委員) もうちょっと交通量が多い場所だったら良いが。

- (担当)地域の公園ですので、近所の皆さんに目配り気配りをお願いできればと思っています。
- (委員)カメラをつける位置でどうにでもなるじゃないか。
- (担当)今後この公園だけでなく、市全体の公園含めて考えていかなければいけない事と思います。
- (委員)腰越道久にある児童公園は現在テープを張ってあるが、テープを撤去するか遊具を撤去するかしないと、子どもが入って今の方が危ないかと思うが。
- (担当)遊具の点検をしたところ危険であると判断したため、テープを張って使用を禁止させて頂いている状況です。腰越児童公園の遊具は、長寿命化方針の計画の中に位置付けられておりまして、来年工事に向けて予算組みをしているところです。それまでは危険であることの周知をするとともに、もしばらくお時間をいただければと思います。また今後大変危険である状況になった場合には、個別にご相談させて頂き、対応を検討させていただきたいと思います。
- (委員)中丸子の西組団地中にある児童公園の遊具が撤去されたまま今の滑り台とブランコがあるが、就学前の子ども達から遊具が欲しいという声があるがどんな考えか。
- (担当)丸子建設課と打合せをして検討していきたいと思います。
- (委員)危険がないよう安全に遊んでいただきたいと思いますので、意見がありましたら今後子育て支援分科会として述べていきたいと思います。
- (委員)ベルパークに設置する遊具ですが、安全面についてもう一度検討をお願いしたい。本当に保護者の目に届くのか、子ども達の発達状況に合っているのかどうかちょっと疑問に思います。

(2)上田市議会 「出前議会報告会」について
事務局から上田市議会出前報告会について説明し、委員の意見を聞いた結果、10月16日(水)実施希望となった。

(3)分科会等での検討状況及び報告について

(ア)丸子地域の子育て支援及び福祉に関する分科会

- 建設課からまりんこ号について説明を受けた。路線バスが走っていない地域からバス路線まで連れてくる「フィーダー」の役割のため路線バスと重複しないルート設定、国からの補助は1便2人以上が条件、始発時間の変更は可能だが委託料は時間と距離に応じており全体の運行に影響する。

(イ)産業の活性化とまちづくりに関する分科会

- 6月7日に異業種交流意見交流会を開催、長野大学の禹教授からチョウザメと立地適正化計画に基づいた上丸子の中心市街地や空家対策、「MARUSHUAKI市」についてお話を伺った。
- 養殖したチョウザメを試食したが感想はまちまちだった。

(ウ)公共交通に関する分科会

- 交通政策課から4月の組織変更により交通政策係から課に変わったこと、運賃低減バス実証実験運行で成果が出ており3年間延長が決まった一方でバス事業者からは人材不足が顕在化して路線バスなどの公共交通を維持することが負担であること、上田市全体の公共交通に関する委託料、補助金、負担金の30年度の決算額が4億4千万で市全体の0.4%を占めているとの説明があった。
- 建設課から、まりんこ号は平成30年度に1便平均2.0人で国の補助金を受けるぎりぎり人数であったが、今年は5月では1.6人、6月が1.5人で厳しい数字になっている。平成12年の開業から19年になるが、一番多く乗ったのが23年の6,519人で去年は3,474人、乗車人数増を目的に現在の東コースと西コースの2コースを、塩川コース、飯沼・尾野山コース、グリーンヒルコースと3コースを検討している。
- 次回以降の分科会では交通政策課も加わり乗降調査アンケートを検討。委員からの意見で、大屋駅に乗り入れできないかと出たが、路線業者との関係が難しく今まで実施されていないが、バス事業者にも会議に出席いただき話を聞きたい。また来年10月にダイヤ改正するのに合わせてダイヤ改正、スケジュール表を作って作業を進めていく。

(エ)市民活動団体交流会

- 6月29日(土)12:30~16:30 丸子ふれあいステーション3階会議室で実施、新たな課題として立替払いについてグループ討議した。資金が無い中で、どのように対応していくか、終了後の継続方法についてなどグループ毎に活発に意見が出て懇親も深まり名刺交換もされていた。

・やっている方々が楽しく、まとまってやっているところに皆さんが協力していく、そして広がりをおこすためのネットワークづくりと、この地域交流会はとても有意義なものであると感じた。

5 その他

(1)次回以降の会議日程（予定）について

第5回 8月28日（水）午後1時30分 梶子ワイナリー現地視察

第6回 9月26日（木）午後1時30分 上田市公文書館視察

(2)その他 なし

6 令和元年度わがまち魅力アップ応援事業（第2回募集分）選考審査発表（非公開）

結果は3(1)記載の通り

7 閉 会

【分科会の開催】 10分程度で実施】

丸子地域の子育て支援及び福祉に関する分科会	4階講堂
産業の活性化とまちづくりに関する分科会	本日休会
公共交通に関する分科会	本日休会